

2023年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部/コース	第3学年/夜間部/1コース
科目名	解剖学V		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	解剖学 客員教授		使用教室	第3柔整普通教室
教員名	江川 薫		講義形式	講義
学習目標と講義概要	これまで学んだ解剖学の知識を整理した上で、さらに必要な解剖学の応用知識を身につけることを目的とする。 脈管系、内分泌系、神経系、感覚器系の構造、機能を理解できる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	脈管系 1 心臓、動脈系	
2	1	2	脈管系 2 動脈系	
3	1	2	脈管系 静脈系、リンパ系	
4	1	2	内分泌系 1	
5	1	2	内分泌系 2	
6	1	2	神経系 B. 脳	
7	1	2	神経系 C. 脊髄	
8	1	2	神経系 D. 末梢神経 1	
9	1	2	神経系 D. 末梢神経 2	
10	1	2	神経系 D. 末梢神経 3	
11	1	2	神経系 D. 末梢神経 4	
12	1	2	感覚器系 1 聴覚器	
13	1	2	感覚器系 2 聴覚器、平衡器	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法	内分泌系 2			
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説				
評価方法	1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席) 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。			
教科書	解剖学:医歯薬出版			
教員について	医学博士の学位を有し大学での臨床経験や他の医療系専門学校での教育経験を活かし授業を行う。			

2023年度 授業要項

区分			専門基礎分野	履修学年/学部/コース	第3学年/昼間部/1コース
科目名			生理学IV	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			歯科医師	使用教室	第3柔整普通教室
教員名			関 伸一郎	講義形式	講義
学習目標と講義概要			生理学の基礎知識を理解した上で、柔道整復師としてさらに重要な生理学の応用知識を身に付けることを目的とする。 血液、循環、呼吸、消化と吸収、栄養と代謝、体温とその調節、尿の生成と排泄、内分泌の機能、生殖、骨の生理学、体液の生理学、神経の基本的機能、神経系の機能、筋肉の機能、感覚の生理学について詳しく説明できる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	生理学とは イントロダクション		
2	1	2	筋の生理 1		
3	1	2	筋の生理 2		
4	1	2	神経の生理 1		
5	1	2	神経の生理 2		
6	1	2	神経の生理 3		
7	1	2	運動の生理 1		
8	1	2	運動の生理 2		
9	1	2	感覚の生理 1		
10	1	2	感覚の生理 2		
11	1	2	内分泌の生理 1		
12	1	2	内分泌の生理 2		
13	1	2	内分泌の生理 3		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1) 単位認定試験 2) 出席状況(3分の2以上の出席) 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
生理学:南江堂					
教員について【実務経験有】					
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。					

2023年度 授業要項

区分			専門基礎分野	履修学年/学部/コース	第3学年/医歯薬/1コース
科目名			一般臨床医学Ⅱ	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			理療科教員	使用教室	第3柔整普通教室
教員名			林 健太郎	講義形式	講義
学習目標と講義概要			一般臨床医学に記載されている各疾患について、臨床現場で遭遇しうる内科疾患の理解をさらに深めることを目的とする。各疾患の、主要症状、主要所見の概略についての理解を深め、診断・治療法についての説明ができるようになる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	呼吸器疾患		
2	1	2	循環器疾患		
3	1	2	消化器疾患1		
4	1	2	消化器疾患2		
5	1	2	代謝疾患		
6	1	2	内分泌疾患		
7	1	2	血液・造血器疾患		
8	1	2	腎・尿路疾患1		
9	1	2	腎・尿路疾患2		
10	1	2	神経疾患1		
11	1	2	神経疾患2		
12	1	2	感染症		
13	1	2	リウマチ・膠原病・アレルギー、環境要因による疾患		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1) 単位認定試験 2) 出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
一般臨床医学: 医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
理療科教員資格の他、はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師の資格を有し、大学病院での実務(臨床)経験や、研究員としての経験、理療科教員養成施設や他の医療系専門学校等での講義を担当、現場で得た知識経験等を活かし授業を行う。					

2023年度 授業要項

区分			専門基礎分野	履修学年/学部/コース	第3学年/昼間部/1コース
科目名			リハビリテーション学	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			医療科教員	使用教室	第3柔整普通教室
教員名			川上 恭	講義形式	講義
学習目標と講義概要			患者の持つあらゆる障害に対し、総合的に対処できるリハビリテーションの知識を身に付けることを目的とする。 リハビリテーションの意義をしっかりと理解したうえで、患者に適切なリハビリテーションの知識を習得する。 リハビリテーションの評価と診断を学び、患者のもつ障害を判断できるようになる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	・リハビリテーションの概念と歴史 ・リハビリテーション医学		
2	1	2	・リハビリテーション医学の基礎医学1		
3	1	2	・リハビリテーション医学の基礎医学2		
4	1	2	・リハビリテーション医学の評価と診断1		
5	1	2	・リハビリテーション医学の評価と診断2		
6	1	2	・リハビリテーションの治療1		
7	1	2	・リハビリテーションの治療2		
8	1	2	・リハビリテーションの治療3		
9	1	2	・リハビリテーション医学と関連職種 ・リハビリテーションの実際1		
10	1	2	・リハビリテーションの実際2		
11	1	2	・リハビリテーションの実際3		
12	1	2	・リハビリテーションの実際4		
13	1	2	・リハビリテーションと福祉		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1) 単位認定試験 2) 出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
リハビリテーション医学:南江堂					
教員について【実務経験有】					
医療科教員資格を有し、治療院での実務(臨床)経験において現場で得た知識経験等を活かし授業を行う。					

2023年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部/コース	第3学年/医歯部/1コース
科目名	疾病と障害演習		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	医師		使用教室	第3柔整普通教室
教員名	蛸原 慎太郎		講義形式	講義・演習
学習目標と講義概要	一般臨床医学、外科学、整形外科で学んだ基礎医学の知識を復習することにより、疾病と傷害を総合的に判断出来るようにすることを目標とする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	総論 復習 1	
2	1	2	総論 復習 2	
3	1	2	感染性疾患 復習	
4	1	2	非感染性疾患 復習 1	
5	1	2	非感染性疾患 復習 2	
6	1	2	骨腫瘍 復習	
7	1	2	骨系統疾患 復習	
8	1	2	骨端症 復習	
9	1	2	神経麻痺 復習	
10	1	2	神経・筋疾患 復習	
11	1	2	身体部位別各論(体幹) 復習	
12	1	2	身体部位別各論(上肢) 復習	
13	1	2	身体部位別各論(下肢) 復習	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
リハビリテーション医学:南江堂 一般臨床医学:医歯薬出版 整形外科学:南江堂				
教員について【実務経験有】				
担当教員は、医師として病院で勤務した実務経験を有している。				

2023年度 授業要項

区分			専門基礎分野	履修学年/学部/コース	第3学年/健康部/1コース
科目名			保健医療福祉	履修単位/時間	1単位/15時間
教員資格			柔道整復師 専科教員	使用教室	第3柔整普通教室
教員名			木野田 浩平	講義形式	講義
学習目標と講義概要			良質な医療を提供する体制を確立できるような知識を身に付けることを目的とする。 患者に対し、安心・安全な環境を提供できるよう、医療に関する適切な情報の提供、医療安全の確保についての理解と説明ができる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	我が国の医療保険の概要		
2	1	2	保険診療の流れ		
3	1	2	医療費の患者負担について		
4	1	2	医療保険制度の体系		
5	1	2	公的医療保険の給付内容		
6	1	2	高齢者医療制度		
7	1	2	単位認定試験		
8	0.5	1	解答・解説		
合計					
8	7.5	15			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1) 単位認定試験 2) 出席状況(3分の2以上の出席) 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
社会保障制度と柔道整復師の職業倫理: 医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
(木野田先生) 柔道整復師免許、柔道整復師専科教員資格を有し、整骨院での現場実務経験、他の学校での教員経験を活かし授業を行う。					

2023年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部/コース	第3学年/昼間部/1コース
科目名	関係法規		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	柔道整復師 専科教員		使用教室	第3柔整普通教室
教員名	木野田 浩平		講義形式	講義
学習目標と講義概要	医療提供の理念に基づき、患者に対し良質かつ適切な医療行為をするうえで「柔道整復師法」と医療従事者としての必須な法規について理解し同時に職業倫理も備えることを目的とする。禁止事項、罰則事項についてしっかりと理解するとともに、医療従事者として社会における人の権利、人権を守ることが出来るようになる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	I.序論 II-A.第1章 総則 II-B.第2章 免許	
2	1	2	II-B.第2章 免許 II-C.第3章 柔道整復師国家試験	
3	1	2	II-D.第4章 業務 II-E.第5章 施術所	
4	1	2	II-F.第6章 雑則 II-G.第7章 罰則	
5	1	2	II-H.第8章.指定登録機関及び指定試験期間 II-I.第9章 附則 III-A.医療従事者の資格法	
6	1	2	III-A.医療従事者の資格法	
7	1	2	III-B-1.医療法1章～2章	
8	1	2	III-B-1.医療法3章～6章	
9	1	2	III-B-2.医療法施行令 III-C.社会福祉関係法規 III-D.社会保険関係法規 III-E.その他の関係法規	
10	1	2	柔道整復師法1	
11	1	2	柔道整復師法2	
12	1	2	柔道整復師法施行令・施行規則	
13	1	2	その他省令および日本国憲法	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
1) 単位認定試験 2) 出席状況(3分の2以上の出席) 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
関係法規 : 医歯薬出版				
教員について【実務経験有】				
(木野田先生)柔道整復師免許、柔道整復師専科教員資格を有し、整骨院での現場実務経験、他の学校での教員経験を活かし授業を行う。				

2023年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部/コース	第3学年/経理部/1コース
科目名	柔道Ⅲ		履修単位/時間	2単位/60時間
教員資格	柔道整復師 専科教員		使用教室	柔道場
教員名	木野田 浩平、天和 航平		講義形式	実技
学習目標と講義概要	精力善用、自他共栄の心を持った柔道整復師を育成するべく、心、技、体を鍛えることを目的とする。 認定実技審査を見据え、礼法、前方回転受け身、約束乱取り、投の形の完成度を高める。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	準備運動、柔道着の着方、礼法、受身1	
2	1	2	準備運動、柔道着の着方、礼法、受身2	
3	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み	
4	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、手技の形1	
5	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、手技の形2	
6	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、手技の形3	
7	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、腰技の形1	
8	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、腰技の形2	
9	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、腰技の形3	
10	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、足技の形1	
11	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、足技の形2	
12	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、足技の形3	
13	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、寝技1	
14	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、寝技2	
15	1	2	中間試験	
16	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、乱取1	
17	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、乱取2	
18	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、乱取3	
19	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、乱取4	
20	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、乱取5	
21	1	2	総合演習1	
22	1	2	総合演習2	
23	1	2	総合演習3	
24	1	2	総合演習4	
25	1	2	総合演習5	
26	1	2	総合演習6	
27	1	2	総合演習7	
28	1	2	総合演習8	
29	1	2	単位認定試験	
30	1	2	解答・解説	
合計				
30	30	60		
学習方法				
見学者はレポートを提出すること				
評価方法				
1) 単位認定試験 2) 出席状況(3分の2以上の出席) 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
資料配布				
教員について【実務経験有】				
(木野田先生)柔道整復師免許、柔道整復師専科教員資格を有し、整骨院での現場実務経験、他の学校での教員経験を活かし授業を行う。 (天和先生)柔道参段、整形外科での実務経験が約7年。現場で診させていただいて得た知識・技術を基にして、基礎はもちろんのこと、臨床経験も交えながら、授業を展開します。				

2023年度 授業要項

区分		専門基礎分野		履修学年/学部/コース	第3学年/経理部/1コース
科目名		柔道整復術の適応		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格		医師		使用教室	第3柔整普通教室
教員名		蛭原 慎太郎		講義形式	講義
学習目標と講義概要		一般臨床医学、外科学、整形外科で学んだ基礎医学の知識を復習することにより、柔道整復術の適応となるかを総合的に判断出来るようにすることを目標とする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	総論(医療面接) 復習		
2	1	2	総論(視診・打診) 復習		
3	1	2	総論(聴診・触診) 復習		
4	1	2	総論(バイタルサイン) 復習		
5	1	2	呼吸器疾患 復習		
6	1	2	循環器疾患 復習		
7	1	2	消化器疾患 復習		
8	1	2	内分泌・代謝疾患 復習		
9	1	2	血液疾患 復習		
10	1	2	腎疾患 復習		
11	1	2	神経疾患 復習		
12	1	2	感染症 復習		
13	1	2	膠原病 復習		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
医療の中の柔道整復:南江堂 リハビリテーション医学:南江堂 一般臨床医学:医歯薬出版 整形外科学:南江堂					
教員について【実務経験有】					
担当教員は、医師として病院で勤務した実務経験を有している。					

2023年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部/コース	第3学年/医歯部/1コース
科目名	社会保障制度Ⅱ		履修単位/時間	1単位/15時間
教員資格	柔道整復師 専科教員		使用教室	第3柔整普通教室
教員名	木野田 浩平		講義形式	講義
学習目標と講義概要	社会保障制度を十分に理解し、患者への説明できる柔道整復師となることを目的とする。特に臨床現場で適応されやすい保険について理解を深め、保険請求の仕組み(償還払い、受領委任はらいの違いなど)について理解し、各保険制度に対応できる知識を身に付けることが出来るようにする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	柔道整復師の為の健康保険の取り扱いと社会的規範	
2	1	2	保険の仕組み・社会保障制度	
3	1	2	償還払い・受領委任払い	
4	1	2	療養の給付と療養費の支給の違い	
5	1	2	接骨院の療養費保険請求の方法	
6	1	2	管理柔道整復師について	
7	1	2	単位認定試験	
8	0.5	1	解答・解説	
合計				
8	7.5	15		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
1) 単位認定試験 2) 出席状況(3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
社会保障制度と柔道整復師の職業倫理: 医歯薬出版				
教員について【実務経験有】				
(木野田先生) 柔道整復師免許、柔道整復師専科教員資格を有し、整骨院での現場実務経験、他の学校での教員経験を活かし授業を行う。				